

令和5年度

# 事業報告書

社会福祉法人息吹

# 令和5年度社会福祉法人息吹事業報告

## 《総括事項》

### 1 人員体制の確保について

令和5年度も介護福祉業界における人手不足はかねてから特に厳しい状況が長期化しており、法人においても常に求人の取組みを緩めることができない。現在の法人の人員体制においては、人員配置基準を満たす状態を維持してはいるものの、資格を所持する職員の割合が低いことが課題となっている。今後も長く働きやすい職場づくりに向けて粘り強く職場定着策を充実することが重要である。

### 2 利用者の減少について

法人が運営する日中活動系事業所全般において、利用者が減少している。一般就労が実現したり、体調不良で通所が安定しなかったり、入院で契約解除せざるを得なくなったり、理由は多岐にわたっている。

グループホームにおいては、昨年、退去された空室を充足することが出来なかった。

### 3 利用者及び家族の虐待事例について

虐待防止及び権利擁護に関する研修・身体拘束等の適正化のための指針・障害者差別解消法に関する研修等人権に関する研修を定期的に行い職員の意識向上に努めた。

実際に息吹の運営する事業所においても、利用者に関する虐待事例が発生し、箕面市関係部局と連携し対応を行った。「親や配偶者に対する暴力・暴言」「親や配偶者から受ける暴力や暴言」が主で、家族関係による身体的・精神的虐待が中心となっている。家族が社会から孤立せず、関係機関へ相談できる環境を整えて、虐待の芽を摘んでいく取り組みが必要である。

## 《事業別報告》

### 1 理事会・評議員会開催状況

#### (1) 理事会開催状況(全4回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和5年6月5日(月)

第1号議案 令和4年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算並びに職務執行  
状況報告の件

第2号議案 令和5年度定時評議員会招集通知記載事項の件

第3号議案 役員候補者選定の件

第4号議案 評議員候補者推薦の件

第5号議案 評議員選任・解任委員選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和5年6月22日(木)

第6号議案 理事長選任の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和5年12月4日(月)

第7号議案 経理規程の一部改正の件

第8号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
に基づくパオミのお(特定相談支援事業)運営規程の一部改正の  
件

第9号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
に基づくパオミのお(地域移行支援及び地域定着支援)運営規程  
の一部改正の件

第10号議案 地域活動支援センターパオミのおの運営規程の一部改正の件

第11号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程の一部改正の件

第12号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
に基づくもみじの家(生活介護)運営規程の一部改正の件

第13号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律  
に基づくあっとほ一む(就労継続支援B型)運営規程の一部改正の  
件

第14号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

に基づくシエスタ(就労継続支援B型)運営規程の一部改正の件  
第15号議案 パワーハラスメント防止に関する規程の一部改正の件

第4回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和6年3月18日(月)

第16号議案 役員賠償責任保険契約の件

第17号議案 令和5年度補正予算(案)及び職務執行状況報告の件

第18号議案 令和6年度事業計画(案)及び予算(案)の件

## (2) 評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時: 令和5年5月19日(金)

報告第1号 評議員選任報告の件

第1号議案 令和4年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

第2号議案 役員選任の件

## 2 地域交流啓発事業及び全体事業

5月 バーベキュー オルタナの森(青少年教学の森野外活動センター)

7月 息吹交流会(もみじの家 焼きそば等)

9月 箕面まつり出店

10月 ライプラ フェスティバル ハロウィンコンサート参加

11月 ハートパーク(萱野北小学校ワークショップ)

2月 おもちつき(もみじの家 息吹地域交流会)

3月 ハートパーク(箕面市総合保健福祉センター 大会議室) 学習会「障害者が地域で暮らすには ～地域と精神障害者とのつながり～」

## 3 ボランティア・見学・実習の受入れ

### (1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	24人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	16人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	39人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	37人

### (2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

精神保健福祉ボランティアこころの会、大阪バイオメディカル専門学校、  
大阪健康ほいく専門学校、神戸女学院大学

#### 4 会議への派遣

- ・箕面市保健医療福祉総合審議会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・(社福)箕面市社会福祉協議会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市社会福祉法人連絡会

#### 5 職員研修実施状況

##### (1) 職場研修

- ・公正採用選考人権啓発推進委員研修

##### (2) 主な参加研修

###### ① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修

###### ② 業務能力開発のための研修

- ・行政書士が伝える現場で役立つ成年後見制度と死後の手続きセミナー
- ・権利擁護部会講演会「暮らしと財産を守る成年後見制度」

###### ③ 人権問題及びその他の研修

- ・人権啓発学習会知ってほしい障害者の生活
- ・みのお市民人権フォーラム「つながりあう力 豊かな社会」
- ・ひきこもりを考える～相談から見える本人の言い分・家族の言い分～
- ・大阪府長期入院精神障がい者退院支援強化事業「精神科病院職員研修」

## パオみのお（相談支援事業）事業報告

### 1 概要

計画相談について、困難事例を中心に新規受任作成件数を増やすことが求められている。

地域移行支援について、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、取組みを進めることが難しい状況が続いた。

### 2 特筆すべき事項と課題

#### (1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

箕面市の委託相談支援事業所として、精神障害者の困難事例への対応件数を増やすよう求められている。しかし、困難事例であることから対応時間を要しコンスタントに件数を増やすことが難しい状況である。

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、感染への不安が軽減されたこともあり、通所系サービスの新規利用申請が多くあった。しかし、通所が安定せず、利用を辞めてしまうケースも多々あり、継続利用に向けた支援も課題である。

#### (2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

箕面市地域自立支援協議会地域移行部会における精神科病院と連携した地域移行支援に係る院内説明会等の取組みについては、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、実施できなかった。

入院が長期化しないように、院内寛解の患者について、退院後の家探し、日中活動や障害福祉サービス等の調整を行ったケースはあるものの、地域への移行の実現には至らなかった。

#### (3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

パオみのおが箕面市委託相談事業所であることから、困難事例を中心に新規受任作成の依頼が絶えない状況があり、件数は増え続けている。

障害福祉サービスを利用することで生活の質の向上が見込まれるものの、様々な理由でサービス利用に至らないなど、対応が困難な事例も多い。家族や関係者からの相談も多く、当事者本人に繋がらないケースも増えている。

### 3 今後について

#### (1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

困難事例を中心に新規受任件数を増やすよう求められていることについては、職員体制を確保するとともに、職員の相談スキルの向上に向けた育成体制

を充実させる必要がある。

## (2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

個別支援や地域の体制整備について、大阪府地域精神医療体制整備広域コーディネーターや自立支援協議会地域移行・定着支援部会と連携した支援を行うとともに、引き続き部会における検討を行う。

## (3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

困難事例への対応については、引き続き箕面市基幹相談支援センター等と連携して支援に当たるとともに、職員研修等による能力強化と連携強化に努める。障害福祉サービスが必要であるにもかかわらず、サービス利用に至っていない障害者への支援については、柔軟に利用が可能な地域活動支援センターを活用することで対応していく。

# 4 主な活動実績

## (1) 計画相談支援事業（指定特定相談支援事業）

(単位：件)

	5年度	4年度	前年度比
サービス等利用計画作成	89	60	148.33%
モニタリング	246	320	76.87%

## (2) 地域相談支援事業（指定一般相談支援事業）

(単位：件)

	5年度	4年度	前年度比
地域移行支援	0	0	-%
地域定着支援	0	0	-%

## (3) 相談支援事業実績（箕面市地域生活支援事業）

(単位：件)

	4年度	4年度	前年度比
相談支援	2,178	2,642	82.43%
生活サポート	28	30	93.33%

## パオみのお（地域活動支援センター）事業報告

### 1 概要

新型コロナウイルス感染対策が徐々に緩和されるのに伴って、少しずつ元の活動に戻してきたが、サロン利用者数は逆に減少した。

サロンで過ごすことが難しい利用者を対象にしたグループワークの利用者数は、堅調に推移している。

### 2 特筆すべき事項と課題

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全ての当事者活動や、地域活動支援センター定例のレクリエーション活動中止する状況が続いた。感染対策が徐々に緩和されレクリエーションなどを再開することができたが、自粛期間が長かったため参加意欲が減退している利用者も多く感染症流行前より参加者が減っている。
- (2) サロンで過ごすことが難しい利用者を対象に実施してきたグループワーク事業については、2つのグループともに月2回の活動が定着している。

### 3 今後について

- (1) 多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。
- (2) グループワーク事業については、2つのグループそれぞれの雰囲気に参加しやすいものに醸成して、さらに充実させることが重要である。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが季節性インフルエンザと同じ5類に移行することとなるものの、感染防止をしつつ、サロン利用やレクリエーション活動の内容変更や規模縮小など、必要に応じて柔軟な対策を継続する必要がある。

### 4 主な活動実績

#### (1) 当事者活動支援 2人（0人）

魁スポーツ推進振興クラブ、カメカメクラブ、カチカチクラブ等は新型コロナウイルス感染拡大の影響により休会中

#### (2) レクリエーション活動 122人（R4. 91人）

花見散歩、みかん狩り、カフェ（お菓子づくり）、クリスマス会、初詣、もちつき、買い物外出、法人利用者交流会、空港見学、ニフレル外出



箕面新駅開業散策など

(3) 独自事業

①グループワーク事業	延利用者数	123人 (R4. 117人)
②食事作り事業	延利用者数	298人 (R4. 275人)
③送迎事業	延利用者数	4人 (R4. 7人)

※ (カッコ) 内は昨年度実績

5 利用者状況

(1) 利用実績

	5年度	4年度	前年比
延べ利用者数	2,216人	2,412人	91.87%
開所日数	308日	305日	100.98%
1日あたり平均利用者数	7.19人	7.9人	91.01%

(2) 登録者数

令和6年3月31日現在

在 (単位: 人)

	5年度	4年度	前年比
男性	173	179	96.64%
女性	143	145	98.62%
合計	316	324	97.53%
新規登録者数	8	5	160.00%

(3) 障害種別

令和6年3月

31日現在 (単位: 人)

	登録数	精神	身体	知的	発達	高次脳
男性	173	135	0	3	4	1
女性	143	148	2	11	11	1
合計	316	283	2	14	15	2

## かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

### 1 概要

昨年度退去があり、令和5年度も3室が空室のままの状態であった。

新規入居者の促進に積極的に取り組む必要がある。

3月中旬に、ぶなの木荘の家賃について、北急延伸に伴い土地の価格や維持費が高騰するなど、経済情勢が変動した理由により値上げの改訂されることとなった。その値上げは、利用者一人当たり11,000円から19,000円の死活問題となりかねないほどの上げ幅となった。そのため、中には、転居も視野に入れ不安になっている方もいるため、一人一人に丁寧な説明と今後の生活について、関係機関と連携しながら早期に安心して日常生活が営めるよう支援を行っている。

### 2 特筆すべき事項と課題

- (1) 新たな入居者が、グループホームでの生活ルールに自然に馴染めるように、見守りや声掛けの支援を重要視するとともに、安定した生活と日中活動への参加をめざすことができるように、それぞれに合ったペースで促している。
- (2) 個別支援計画については、年に1度の計画作成と半年に1回のモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (3) 利用者の障害種別について、精神障害だけでなく知的障害、発達障害、認知レベルの低下など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。
- (4) 配置基準を満たすために人員体制を補充してきましたが、利用者の生活に不安が生じないように、職員間で情報共有やスキルを向上してフォローし合うことが重要となっている。
- (5) ぶなの木荘について、家賃の値上げに伴い、利用者の方の不安や心配にならないように臨時のミーティングを開催し各利用者の意向を踏まえ対応を行っていく。

### 3 今後について

- (1) 個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (2) 障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。人員体制の新陳代謝に伴って配属される新たな職員については、特に内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。
- (3) 新規入居者の募集について、早期に満室を実現できるように法人事業所の利用者以外にも対象者を広げて、積極的に取り組んでいく。入居者同士のマッチングなど踏まえ、かたばみ寮とぶなの木荘の全体での調整を考慮し新たな利用者の受け入れ態勢を整えていく必要がある。

#### 4 利用者状況(令和6年3月31日現在)

##### ①利用者数(単位:人)

	定員	利用者
かたばみ寮	2	1
第2かたばみ寮	4	3
ぶなの木荘	5	4
第2ぶなの木荘	3	3
合計	14	11

##### ②利用者の特性

平均年齢	55.9 歳	
平均在籍年数	10 年 9 か月	
障害支援区分	区分 2	1 人
	区分 3	4 人
	区分 4	6 人

##### ③利用者の日中活動先(単位:人)

もみじの家	5
あつとほ一む	2
シェスタ	1
就労	1
その他	2

# 生活介護もみじの家事業報告

## 1 概要

平成 29 年に就労継続支援 B 型事業所から生活介護事業所へと業態を変更して 8 年が経過した。就労継続支援 B 型事業所の頃から基幹事業であった工賃作業を継続しているほか、生活介護プログラムを提供し、利用者とともに事業所としての経験を重ねている。

## 2 特筆すべき事項と課題

### (1) 日中活動支援

日中活動プログラムについては、月 2 回のミーティングにおいてプログラム内容を丁寧に説明し、利用者の発案を促すなど、利用者が主体となって活動内容を決定できるように努めた。令和 5 年度においては職員からも積極的にプログラム内容を提案し、特に健康増進を意識したプログラムとして提供した。

個別支援計画を作成し、年 2 回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数の増加、より長時間の利用につながるなど活動意欲の向上につながった。

利用者の強い希望により毎日 1 コマ(2 時間)を生産活動の時間として設けており、就 B 事業所の時代から継続している製袋シェア事業を基幹業務として取り組んでいる。市の仕様変更により工賃収入としては減少したが、その他短期外注作業・キッチンたわし(キッチンフラワー)の自主製作と販売、といった小規模事業収入等で補いながらやりがいをもって取り組んでいる。

### (2) 地域生活支援

利用者が居住の場から安心して通所するための送迎サービスについて、利用ニーズが増えていることから、送迎ルート調整と送迎体制(車両及び職員体制)の確保に努め、往路送迎は車両 2 台で 4 便体制となっている。

日常生活において保清が苦手な利用者を対象とした入浴サービスについては利用が減ってきており、特定の利用者が毎回利用している状況に留まっている。健康教室において、医師及び看護師から健康管理について学ぶ機会となっている。

### (3) その他

令和 6 年度障害福祉サービス報酬改定において、サービス提供時間別報酬の設定や食事提供加算の見直しが示されており、本体報酬が 3~4 割も削減されるなど、これまでになく非常に厳しい内容となっている。

## 3 今後について

箕面市指定ごみ袋製袋作業と並行して、今後はさらなる基幹作業の開拓を検討する必要がある。

利用者数名が他事業所に移行するなど減少要因があるため、パオみのお等の

相談支援事業者や関係機関と連携してPRするなど新規利用者を増やす取り組みが必要である。

#### 4 主な活動実績

##### (1) 就労支援事業

###### ① 主な就労支援事業収入

事業内容	5年度	4年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋)	1,209,361円	1,260,835円	95.9%
その他(自主製品)	402,178円	487,179円	82.5%
計	1,611,539円	1,748,014円	92.1%

###### ② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

5年度	4年度	対前年度比
6,552円	7,897円	82.9%

##### (2) 日中活動プログラム

###### ① 主な日中活動プログラムの活動実績

プログラム	年回数	概要
作業	255回	箕面市指定ごみ袋、ライフプラザごみ回収、ポスティングなど
ミーティング	40回	プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。
調理実習	23回	ボランティアグループこころの会と利用者が調理し食事する。
健康教室	20回	医師及び看護師による健康相談(血圧、脈拍など)及び健康知識の講習会など。
運動	25回	稲スポーツセンター等の運動施設やもみじの家において、バレーボール・バスケットボール・卓球等に親しむ。
映画鑑賞	12回	DVDによる映画鑑賞をして感想文を書く。
もみじカレッジ	7回	漢字、算数、地理、英語などを職員と楽しく学ぶ。
ゲーム	4回	カードゲームやボードゲームなどを楽しむ。
お菓子作り	12回	簡単に作れるお菓子を食材調達して楽しく作って食べる。
ガーデニング	6回	プランター栽培で野菜を作って収穫する。(もみじ菜園)
ボッチャ	8回	作業スペースを利用して2チーム対戦形式で行う。
外出、ドライブ	10回	公共施設や大型ショッピングモールなどへ出掛け散策する。
散歩	4回	みのおキューズモールや滝道まで歩いて散策する。

※上記の他に、フリータイム(14)、室内レク(6)、図書館散策(12)、地域清掃(2)、避難訓練(2)など。

###### ② ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	24人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	5人

関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	17人
箕面市立第二中学校体験実習受入れ延べ人数	2人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	17人

## (2) その他の活動

- ①施設外活動(市内お祭りへ出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)
- ③息吹交流会

## 5 利用者状況

### (1) 利用実績総括表

令和6年3月31日現在

項目	5年度	4年度	対前年度比
利用契約者数	20人	21人	95.2%
平均年齢	51.3歳	52.8歳	-1.5歳
稼働日数	243日	※245日	99.1%
延べ利用者数	2,631人	2,753人	95.5%

※コロナ感染により1日間閉所した

令和6年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	B1	B2	なし
男	14	1	10	1	2	0	0
女	6	0	6	0	0	0	0
合計	20	1	16	1	2	0	0

### (3) 障害支援区分の状況

令和6年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	区分1	区分2	区分3	区分4	区分5
男	14	0人	2人	8人	4人	0人
女	6	0人	2人	3人	1人	0人
合計	20	0人	4人	11人	5人	0人

# 就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

## 1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

新たな取り組みとして、赤い羽根共同募金への取り組みに参画した。

参画するにあたり利用者にも意向を伺った上で、寄付付き商品として、お弁当の売上金の一部を寄付することとなった。時期は、10月～12月の3か月間でお弁当1食につき5円、合計41,155円を赤い羽根共同募金へ寄付することができた。

また、新規利用者が増えたことで、利用者同士の関係性がスムーズに構築できるようスタッフが間に入って支援を行っている。問題が起きた時、早期解決が出来るよう、さらなる職員の支援スキル向上が求められる。

## 2 特筆すべき事項と課題

### (1) 就労支援事業

工賃向上について

利用者数と延べ利用者数が前年度より増加し、配食サービスの売り上げは減少したが工賃金額には影響がなく維持できた。

もみじの茎切り作業は、委託元の変更があったが、作業工程など大きな変化もなく利用者にとって、変わらずに安定した作業提供ができた。

今年度から調理作業を1日従事した利用者と、事務作業を選択し作業を行う利用者と工賃計算方法を変えたことで、調理作業に取り組む利用者が少しずつ増えてきて、刺激となっている。

しかし、個々の利用者の特性や希望に沿って作業を選択できるよう配慮が必要である。

### (2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や協力機関での実習に取り組めるよう促していく。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

### (3) その他

新規利用者の体験と実習を終えて利用に繋がった方が増えたが、就労経験のない利用者の方の対応や不安定になる利用者への対応など職員のスキルが求められることが増えてきた。

### 3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

職員の職場定着に向け育成を行い、サービスの質の向上に努めていく。

配達業務については、変更した配達ルートに慣れてきていることもあり、前年度は3台での配達業務を行ってきたが、現在は2台で配達業務を行うこともできているため、今後も安全面など配慮しながら効率良く取り組めるように努めていく。

作業工程については、1階調理場で行ってきた仕込み作業の一部を2階でも行えるようになったことや、2階で軽作業にあたる利用者が食器の洗い物を率先して行うなど、役割分担を整理することで、工賃向上へ向けて全員で取り組めるようになってきた。

## 4 主な活動実績

### (1) 就労支援事業

#### ① 主な就労支援事業収入

事業内容	5年度	4年度	対前年度比
配食サービス事業	15,050,551 円	15,687,381 円	100.5%
自動販売機管理	87,860 円	105,933 円	75.6%
受託事業(もみじの茎切り)	71,000 円	106,750 円	391.7%
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	0 円	0 円	-%
その他(印刷など)	112,120 円	113,120 円	98.0%
計	15,321,531 円	16,013,184 円	100.7%

#### ② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

5年度	4年度	対前年度比
27,883 円	25,242 円	112.7%
41,648 円		

#### ③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
---------------	-----



利用見学及び実習受入れ延べ人数	7人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	6人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	5人

## (2) その他の活動

- ①施設外活動(箕面まつりへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)
- ③余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④専門指導研修(調理師による利用者向け・職員向け講習会)
- ⑤息吹交流会

## 5 利用者状況

### (1) 利用実績総括表

令和6年3月31日現在

項目	5年度	4年度	対前年度比
利用契約者数	27人	25人	108%
平均年齢	45.0歳	47.7歳	▲2.7歳
稼働日数	243日	246日	98.8%
延べ利用者数	3,577人	3,181人	112.4%
1日平均利用者数	14.7人	12.9人	114.1%

### (2) 障害者手帳所持状況

令和6年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	2級	3級	A	B1	B2	なし	重複
男	16	11	4	0	1	0	0	0
女	11	3	5	0	0	4	0	1
合計	27	14	9	0	1	4	0	1

## 就労継続支援B型シェスタ事業報告

### 1 概要

就労支援事業については、新商品等を増やすなど売り上げ向上を強化したが、それ以上に原材料の高騰が進み、思うような工賃向上とはならなかった。また、利用者が減少したため工賃はほぼ維持する形となったが、今後はさらなる商品開発に力を入れる取り組みとが利用者の新規契約者増加に向けた対策が必要である。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

### 2 特筆すべき事項と課題

#### (1) 就労支援事業

販売先については、学校以外の一般企業等への販路拡大に取り組む必要がある。1月から、箕面市ポートルース事業局より優先調達事業として焼き菓子の注文を受注。継続した注文を受けられるよう生産力向上にも努めていく必要がある。

また、利用者減少に伴い、焼き菓子製造作業に負荷がかからないよう工夫が必要である。そのため、製菓専門のスタッフを雇用し、生産量の増加や新商品の開発につながるよう努めた。

#### (2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

#### (3) 利用者の状況

一般就労や他の事業所へ利用者が移行したため、契約者数が伸び悩む状態が続いている。通所回数が少ない利用者が多いため、平均利用者数が減少し、安定した事業運営が難しくなっており、利用者の確保が大きな課題となっている。

しかし、目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者もあり、販売先も再開できるところも増えたことで、意欲的に活動を行えた面もある。

### 3 今後について

原材料の高騰により、今年度から価格の改定をせざるを得ない状況となっている。夏季から始まる冷菓の販売では、今まで無料であったプラスチックスプーンを有料化することとした。利用者については、一般就労や他の事業所へ移行した利用者に加え、50歳代以上で体力低下しつつある利用者の利用日数減少もあるため、安心してやりがいのある事業展開を行い利用者の確保に努めていく。

新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

### 4 主な活動実績

#### (1) 就労支援事業

##### ① 主な就労支援事業収入

事業内容	5年度	4年度	対前年度比
焼き菓子販売	4,260,271 円	4,086,440 円	104.2%
委託事業(もみじの茎切り等)	180,000 円	260,000 円	69.2%
計	4,440,271 円	4,346,440 円	102.1%

##### ② 利用者一人当たりの月額平均工賃額

5年度	4年度	対前年度比
17,657 円	17,104 円	103.2%
24,173 円		

##### ③ ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	4 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	16 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	15 人

#### (2) その他の活動

- ① 施設外活動(市内小学校イベント参加、市内お祭りへの出店参加)
- ② 啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク、おもちつき)
- ③ 余暇活動(なかよし会等)
- ④ 息吹交流会

## 5 利用者状況

### (1) 利用実績総括表

令和6年3月31日現在

項目	5年度	4年度	対前年度比
利用契約者数	15人	16人	93.7%
平均年齢	41.8歳	41.3歳	0.5歳
稼働日数	244日	249日	97.9%
延べ利用者数	2,510人	2,738人	91.6%
1日平均利用者数	10.29人	11.0人	93.5%

### (2) 障害者福祉手帳所持状況

令和6年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1級	2級	3級	A	B1	身体 3級	なし
男	6	0	4	2	0	0	0	0
女	9	0	3	1	2	1	1	1
合計	15	0	7	3	2	1	1	1